

平成28年 予算審査特別委員会 全議員でしっかりチェック!

総額128億4,228万円の活かし方

3月9日と10日の2日間、平成28年度予算について議員全員が委員となり、審議を行いました。委員長に高坂恭子委員、副委員長に菅澤環委員を選任しました。ここでは、質疑の一部を要約してお伝えします。

一般会計



高坂恭子予算審査特別委員長

那須保秋委員 ふるさと寄附金、3千万円の寄附に対し経費が2千万円で収入は1千万円ですが、本町住民が他の自治体へ寄附している寄附金の件数と金額は。
税務課長 24人で48件、83万円余りです。

所一重委員 25年以上議員歴のある方等、叙勲の申請資格がありながら受けられていないのは、町が申請をしていないからか。
総務課長 叙勲の対象となる方については潜在候補として台帳整理をしており、推薦をしています。

石渡悦子委員 税のコンビニ収納での守秘義務等生じる問題点に対する対応策等は。
税務課主幹 コンビニで使われる納付

書には氏名のみで住所等の記載はありません。万が一、情報漏えいといった不測の事態については収納代行業者とのシステムを通して即時対応する考えです。

那須保秋委員 男女共同参画について町の方針は。
企画財政課長 新年度、男女共同参画計画を立案の予定です。草案は委託せず自前で調整していきたい。

菅澤昌則委員 視察をした香川県三木町のような、生後6ヵ月から就学前の児童の24時間預かり保育は検討できないか。
町長 現在0歳児の受け入れに期待が強まっているなどもあり、一つの研究材料にはしたい。

所一重委員 社会福祉協議会への補助金は人件費が多く含まれると思います。が、現会長、事務局長が任期途中で辞職されることについては。
保健福祉課長 補助金の内訳は人件費全額、事務費半額、町が委託している事業の事業費全額等です。

町長 会長ともお話ししましたが、固辞されており、それ以上のことは承知していません。

土井清司委員 成田空港周辺農産物輸出協議会で、空港周辺に大型低温貯蔵

学校給食センター事業特別会計

石渡悦子委員 加工品等学校給食会から納入される物の点検状況は。今後も給食会に依存した形で学校給食が進められるのか。
学校給食センター所長 学校給食会で製品の適正をチェックし、採用となれば製品の安全が担保されていると考えます。給食会の選定食材と、米、葉物野菜等鮮度が大事な食材については地元産の併用を進めていきたい。

国民健康保険事業特別会計

石渡悦子委員 保険基金安定繰入金金の保険者支援分は法定減免以外の方の保

庫ができ、周辺農家の野菜を集荷して輸出する計画があるとの話しは出ましたか。
町長 成田市場にある会社の社長が本町に来られ、30ヘクタール強の土地を確保したい旨話していましたが、圏央道を中心としたエリアに市場を構えたいとの構想はあるようです。

鵜澤茂委員 有害鳥獣捕獲委託料の内容と、捕獲作業に必要な研修の費用を町で負担できないか。
産業経済課長 猟友会の方々に対して、1日4200円×4日×18人×年2回でお願いしています。研修会への費用負担については前向きに検討します。

所一重委員 町民体育館解体工事監理業務とは具体的にどのようなものか。責任の所在は明確に。
生涯学習課長 解体、撤去、処分について設計どおり行われたかを、委託業者が工事業者と工程ごとに打合せをしながら見ていくものです。



秋に解体が予定される町民体育館

国保多古中央病院事業会計

石渡悦子委員 国は来年度中に新公立病院改革プランの策定を求めています。が、本町の状況と療養型の今後についての考えは。
病院事務長 県のビジョンに沿って来年度中に改革プランを作成の予定です。医療と介護合わせて56床ある療養病床の方向については随時研究、検討を進めて対応していきます。

菅澤昌則委員 10月から給食を業者委託することですが、それまで現体制で対応できるのか。
病院事務長 調理員の確保が難しく、こども園から臨時異動で確保している現状です。現在栄養士も含め調理業務をしており、10月までの体制で患者食の提供をしていきたい。



旧多古第二小学校の今後は…

石渡悦子委員 多古第二小跡地利用に対する町の考え方、地域住民からの意見聴取、方向性を出す時期は。
学校教育課長 現段階では具体的な方向性は定まっています。体育館については今までのとおり解放し、避難所投票所としての使用は継続します。検討組織を立ち上げ、地元の方等のご意見もいただきながら、葛飾区の児童館との交流も含め検討していきたい。

土井清司委員 西古内グラウンド整備工事の内容は。
生涯学習課長 ゲートボール場4面に砂を入れて改良するものです。
菅澤環委員 国際交流事業での14万円の自己負担が厳しい家庭もあります。経済的余裕のない家庭の子どもたちも参加でき、精神的な成長を促す事業等も検討しては。
生涯学習課長 海外派遣事業には子どもたちに国際感覚を身につけてもらう考えもあります。自己負担額は高額とは思いますが、今後渡航先等も検討し、負担軽減も図れればと思います。



国際感覚を養う国際交流事業
(ニュージーランド・オタマテアハイスクール)

※SSW: スクールソーシャルワーカー。子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。